

SEIREI SAKURA Citizen Hospital



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
聖隷佐倉市民病院



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
聖隷佐倉市民病院 健診センター

〒285-8765 千葉県佐倉市江原台2-36-2
TEL.043-486-1151 FAX.043-486-8696

ホームページ
<https://www.seirei.or.jp/sakura/>



2014.12(初)
2016. 4(改)
2017. 6(改)
2018. 2(改)
2019. 2(改)
2020. 2(改)
2021. 4(改)
2022. 6(改)
2023. 4(改)
2023.12(改)
2025. 1(改)
2025.12(改)



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
聖隷佐倉市民病院



隣人愛

キリスト教精神に基づく「隣人愛」に立ち、
患者本位のより良質な医療を求めて最善を尽くします

「患者さんの権利とお願い」に関する宣言

患者さんの権利

1. 十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒否する権利があります。
2. 主治医以外の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
3. すべての個人情報保護される権利があります。
4. 尊厳をもってその生を全うする権利があります。
5. その社会的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されことなく、平等で良質な医療を受ける権利があります。
6. 医療費の明細の報告を受けるとともに、医療費の公的援助に関する情報などを受ける権利があります。



患者さんに守っていただきたいこと

1. 健康に関する情報とその他の必要事項について詳しく正確に医療従事者にお伝えください。
2. 検査や治療の内容を十分理解し、治療方針に明確な意思表示をしてください。
3. 選んだ治療計画を遵守してください。
4. 当院が定めたルールをお守りください。病院内での大声、器物破損行為、飲酒、喫煙、暴言暴力、セクシャルハラスメント、ストーカー行為があった場合は、診療をお断りします。
5. 医療には、医学、社会、経済、倫理等の様々な要因により限界があることをご理解ください。
6. 患者さんは、医療費の支払い請求を受けたときには、速やかにお支払いください。

基本方針

1. 隣人愛の精神の継承と実践
2. 安全かつ迅速で適切な医療・看護の提供
3. 地域医療との連携、地域住民参画の医療
4. 創造的な変革を通し、効率的で安定した健全経営
5. 働きがいのある職場づくり

シンボルマーク



ヨハネによる福音書13章には、最後の晩餐のとき、主イエスは「夕食の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰に巻き、それから水をたらいに入れて弟子たちの足を洗い…」とあります。当時、他人の足を洗う仕事は奴隷の役割でした。キリストは弟子たちに行動をもって最後の教えを示しました。これが聖なる神様の奴隷を意味する『聖隷』の語源となりました。外側の二重円はこのたらいを表しています。内側の三つの円は、聖隷集団の使命である医療(赤)、教育(青)、福祉(緑)を象徴しています。中央の十字架はキリスト教を示し、すべての事業がキリスト教会の中から始まったことを示しています。

使命

安心して治療に専念できる病院を目指しています

病院長あいさつ

隣人愛を原点とした医療をめざして

私たちが大切にしているのは、「隣人愛」という姿勢です。これは、“自分を大切にするように、目の前の隣人を思いやる”という考えに由来しています。困っている人に気づき、その方の力になろうと手を差し伸べる——設立以来受け継がれてきたこの精神は、医療の粋を超えて、すべての患者さんに向き合う私たちの原点となっています。そして私たちにとって、患者さんがふっと笑顔を見せてくださる瞬間ほど大きな喜びはありません。その一瞬に、日々積み重ねてきた努力が報われ、また明日も頑張ろうと思える力をいただいています。

当院の母体である聖隷福祉事業団は、1930年に数名の若者が結核患者を受け入れたことから歩みを始めました。制度より先に“苦しむ人のもとへ向かう”という姿勢は、日本初の有料老人ホームや本格的ホスピスの開設へと繋がり、現在では16,000人を超える職員を抱える全国規模の社会福祉法人に発展しました。この「先駆的・開拓的精神」は、今も私たちの医療の大切な支えとなっています。

私たちの挑戦は、患者さんの人生をトータルで支える診療体制にも表れています。予防や急性期医療、退院支援に加え、退院後の生活を支える訪問看護をはじめ在宅医療機関とも協力し、医療と暮らしをつなぐ切れ目のない支援を続けています。

なかでも当院が力を注いでいる領域の一つが「がん診療」です。がんは、早期発見から治療、そしてその後の生活まで長い時間を共に歩む病気です。当院では、健診センターでの「予防・早期発見」を入りに、手術・化学療法・放射線治療などを組み合わせた総合的ながん医療を提供し、病気に立ち向かう力を支えています。また、2025年秋に再開した「緩和ケア病棟」では、身体の痛みだけでなく、心のつらさや生活の悩みにも寄り添える環境を整え、穏やかな時間を守り抜きます。治癒を目指す時も、穏やかな時間を過ごす時も、私たちは常に患者さんに寄り添います。

腎疾患の診療は、前身である国立佐倉病院の時代から続く当院の重要な柱です。慢性腎臓病や透析患者さんを長く支えてきた経験が、地域に安心を届ける基盤と

なっています。急性期から生活期まで、途切れのない支援が可能な体制を整えています。

高齢化が進む社会では、骨粗鬆症は生活の質を大きく左右します。当院では、看護師・薬剤師・理学療法士、管理栄養士など多職種が連携して治療にあたり、「骨折の連鎖を防ぐ」その取り組みは全国的にも高い評価を受けています。また、整形外科では、関節や脊椎疾患に対して専門性の高い治療を提供し、地域医療の一端を担っています。

当院にはこのほかにも多くの診療科があり、それぞれが専門性を生かして協力し合い、患者さんを総合的に支える医療を提供しています。すべての診療科においてご受診される方に「聖隷佐倉なら安心」と感じていただけるよう、院内の連携を何より大切にしています。

そして私たちは、地域の先生方に日頃より大きな力をいただき、その信頼関係を大切にしております。患者さんの情報を丁寧に共有し、互いに相談し合いながら支え合う——こうした顔の見える温かい協力関係の中で、当院の医療は支えられています。

設立以来受け継がれる「助けを求める人に寄り添う」という精神を胸に、これからも挑戦を続けます。どうぞ安心して当院にお越しください。あなたの人生を支える一番の味方として、ここでお待ちしています。

病院長

小谷 俊明



連携

各職種が高次元で連携し質の高い医療を目指しています

多職種が連携したセンター機能

部門を超えて職種横断的に構成された各センター機能により、高次元で質の高い医療を提供します。

腎センター

腎臓に関するすべての体制が整っています

当院では、腎臓内科専門医・小児腎臓専門医・移植外科医により、すべての段階（フロー図）において対応する体制が整っております。

当院の前身の国立佐倉病院は、腎不全対策病院として早くから腎移植医療に積極的に関わり聖隷佐倉市民病院へ移行してからも、その伝統を引き継ぎ、国立病院から引き続き診療にあたっている腎医療関係スタッフとともに新しいメンバーが加わり、レベルの高い腎医療を提供しております。

腎生検
治療
腎不全教育
シャント手術
透析導入
通院透析
透析合併症
腎移植



せぼねセンター

せぼね（脊椎）の病気を専門的に治療しています

脊椎外科医全員が、大学病院で脊椎疾患に関する治療・研究において豊富な経験を積み、博士号を有しています。痛みなどの症状から原因を見極め、検査で正確な診断後、薬物など患者さんに負担の少ない治療法を行います。症状によっては手術も考慮します。正しい情報提供と十分な相談の上、治療法を選択して頂き、疾患に応じては各種手術法など最適な方法を行っています。看護師や理学療法士、薬剤師、ソーシャルワーカーなどのスタッフも脊椎疾患患者さんに対して経験豊富であり、快適な入院生活と早期の社会復帰実現のためのお手伝いをしています。

脊柱変形（側弯症、後弯症など）や頸髄症、腰椎椎間板症、透析脊椎症などの難易度の高い手術、顕微鏡やナビゲーションを用いた低侵襲手術や骨粗鬆症性椎体骨折に対するバルーン椎体形成術（BKP）が特徴です。



多様なセンター

多様なセンターが専門性の高い医療を実現します

内視鏡センターでは、定期健診から精密検査、腫瘍や結石などの疾患に対する内視鏡治療などを、内科・外科の垣根を越えて専門の医師が責任を持って担当しています。

「苦しくない胃カメラ」を目指して、経鼻内視鏡や鎮静剤の使用を積極的に行っています。



生活習慣病センターでは医師、看護師、管理栄養士をはじめとした専門スタッフがさまざまな相談に対応し、患者さんが無理せずできる事を一緒に考えていきます。糖尿病や合併症が悪化しないよう、そして糖尿病をもちつつも毎日楽しく過ごしていただけるようお手伝いさせていただきます。



責任

地域を代表する専門性の高い医療機関として責任を果たします

専門性の追求

より専門的で複雑化する医療環境の中で、高度な医療技術を提供できる体制を整えています。また、専門の知識や資格を有する多様な人材が集まり、チーム医療で患者さんに寄り添います。

がん治療

早期発見と集学的治療の提供をしています

当院では、がん治療に取り組む体制を整えています。健診部門での早期発見、内視鏡センターによる早期治療、外科系診療科による手術的治療、緩和ケアチームによる疼痛治療などを提供しています。

また、免疫療法（自家がんワクチン）やメタストロン注による骨転移の疼痛緩和治療などの新しい治療法についても積極的に導入しております。

2010年からは放射線治療装置も整備し、がん治療の集学的提供ができる体制を整えています。



専門職の連携したチーム医療

スペシャリストのチーム連携で柔軟性を高めています

医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・事務員で構成されている栄養サポートチーム（NST）が、栄養状態の改善をとおして治療効果を高め、合併症の減少、在院日数の短縮にチーム一丸で取り組んでいます。

また、各領域における認定看護師たちが、ストーマ・スキンケア外来、生活習慣病センター、CKD看護外来、乳腺看護外来、がん看護相談外来で質の高い看護を提供するとともに、多職種連携を円滑にし、患者サービスの質の向上に取り組んでいます。



機能の充実

最先端の機能を備えています

千葉県がん診療連携協力病院として高精度照射が可能な放射線治療システムを導入しています。3次元立体画像での治療計画に加え、がん病巣へのミリ単位の照射が可能です。

手術室では、ナビゲーションシステムを用いたコンピューター支援手術、3次元プリンターを使った実態モデル、術中の脊髄機能を電氣的に評価する脊髄モニターなどを使ってより安全で正確な手術を心がけています。また、Oアームイメージングシステムを用いることで、術中のCT撮影が可能となり、手術の安全性を高めています。

透析センターでは全てのベッドにオンラインHDFを導入し、血液透析（HD）に比べて合併症のリスクを抑え、体に負担の少ない透析を提供しています。



絆

広い視野で地域社会との連携を目指しています

地域社会とともに

『地域社会』との連携・交流を深め、地域の中核病院としてより良い関係を作り、社会貢献をしていきます。

地域全体の連携を目指して

医療だけにとどまらない 地域全体での保健・医療・福祉の連携を目指します

当院は地域の中核病院となるべく、「健診センター・病院・訪問看護ステーション」の機能を充実・連携し、良質な医療の提供を目指しています。

又、地域の保健・医療・福祉の連携を推進する為、地域連携室・総合相談室を設置し、患者本位の医療を実践しています。

”地域に開かれ、地域に根差した病院”として、地域の関係機関と連携し、患者さんが安心して治療に専念できる環境作りを行っていきます。



地域社会との交流

地域への貢献および地域のみなさまとの交流を目的に、 さまざまな取り組みをしていきます。

医療と地域コミュニティの充実をはかるため、一般市民の方向けに医療・健康に関する市民公開講座や、さまざまなアーティストによるロビーコンサート、腎臓病教室、糖尿病教室などのさまざまなイベントを開催しています。

院内には、患者図書館(さくらプラザ)やカフェテリア(Green Leaves mall)の設置、ボランティアの方々による支援・協力など、より良い環境づくりを目指しています。

地域全体への社会貢献を目指し、患者さん・利用者の皆さんの立場に立った取り組みを行っていきます。



予防

病気の治療は予防・早期発見からはじまります



健診センター

理念

わたしたちは、利用者の皆様と力を合わせて
お一人おひとりの健康の実現を支援します。

コンセプト

「家族の健康コンシェルジュ」

ご家族・ご夫婦で人間ドックをお受けいただきながら、
1日ゆったりと寛いでいただける空間作りを目指します。



医師の結果説明

1 人間ドック・健診専用の施設で ゆったり受診していただけます

健診センター専用MRI・内視鏡センターを完備
しており、病院へ移動することなく、健診センター
内にて人間ドック・健康診断が受診できます。

2 丁寧な医師の結果説明を 心がけています

人間ドック検査終了後、医師による結果説明を
行います。過去のデータを元に当日の結果と比較
しながら、今後の生活プランのお話や、健康に関する
様々なご質問にお答えいたします。

3 受診後のアフターフォローも おこなっています

人間ドック・健康診断後に再検査や精密検査が
必要になった場合、聖隷佐倉市民病院にて健診
後外来もしくは専門外来をご案内いたします。開設
していない診療科やご希望の病院がある場合は
他院へご紹介いたします。

4 癒しの空間をご用意しました

検査をお待ちになる時間を快適にお過ごし
いただけるよう、専用のリラックスルームをご用意
いたしました。人間ドックのお食事は、明るく開放的
なカフェテリアにて、管理栄養士が監修した
メニューをご賞味ください。



健診センター外観



2F総合検査室



リラックスルーム



皆さまの
笑顔のために
できること



わたしたちはただ医療に携わるだけでなく、
そこに「笑顔」をプラスすることで
良好なコミュニケーションをご提供いたします。
医師と患者さん、スタッフとご家族だけでなく、
スタッフ同士も笑顔によって良好な職場環境を築きます。
「笑顔」で心も身体も健康に。
皆さまの笑顔のために私たちは邁進いたします。

PLUS SMILE!

笑顔で健康に！



愛をテーマに、地域とともに

聖隷佐倉市民病院



概要

開設者	社会福祉法人 聖隷福祉事業団			
病院名	聖隷佐倉市民病院			
所在地	〒285-8765 千葉県佐倉市江原台2丁目36番2			
理事長	青木 善治			
院長	小谷 俊明			
病床数	許可病床399床			
職員数	799名(2025年12月時点)			
診療科	● 腎臓内科 ● 内分泌代謝科 ● 呼吸器内科 ● 消化器内科 ● 総合内科 ● 循環器科 ● 神経内科 ● メンタルヘルス科 ● 小児科 ● 外科 ● 乳腺外科 ● 血管外科 ● 皮膚科 ● 整形外科 ● 脳神経外科 ● 呼吸器外科 ● 泌尿器科 ● 眼科 ● 耳鼻咽喉科 ● 病理科 ● 放射線治療科 ● リハビリテーション科 ● 緩和医療科 ● 和漢診療科 ● 形成外科 ● 麻酔科 ● 美容外科 ● 放射線診断科 ● 化学療法科			



沿革

1874年	東京鎮台佐倉衛所病院として創設
1888年	佐倉衛戍病院となる
1936年	佐倉陸軍病院となる
1945年	厚生省に移管され、国立佐倉病院となる
1977年	腎不全対策の基幹施設、腎移植センターとして機能付与される
1979年	江原台へ移転
2004年	聖隷佐倉市民病院として社会福祉法人聖隷福祉事業団へ経営移譲 医療機能を引き継ぎ、あらたに開設
2005年	第1期工事(A号館・透析センター棟)の竣工 健診センターのオープン
2008年	緩和ケア病棟の開設
2010年	せいいい訪問看護ステーション佐倉の開設 第2期工事(手術棟)の竣工
2014年	第3期工事(外来棟・健診センター棟)の竣工
2015年	地域包括ケア病棟の開設
2019年	せいいいケアプランセンター佐倉の開設 第4期工事(B号館・増築手術棟)の竣工



1979年8月
江原台へ移転



2004年3月
聖隷福祉事業団へ経営移譲

認定施設

日本医療機能評価機構認定病院

当院は、(公財)日本医療機能評価機構が策定する評価基準に基づき、病院の理念、医療の質や情報の提供、患者サービス等の機能について審査を受け、評価基準の達成病院として認定されました。



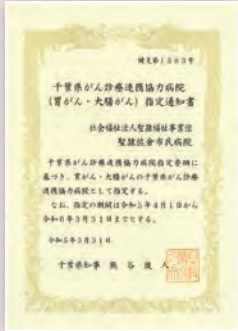
その他の認定

- 国民健康保険療養取扱機関
 - 健康保険医療機関
 - 結核予防法指定医療機関
 - 労災保険指定医療機関
 - 特定疾患治療取扱病院
 - 無料低額診療施設
- 公害医療指定医療機関
 - マンモグラフィ検診施設画像認定施設
 - 被爆者一般疾病医療取扱機関
 - 生活保護法指定医療機関
 - 小児慢性医療指定医療機関
 - 更生医療指定医療機関
- 育成医療指定医療機関
 - 精神通院医療指定医療機関
 - 臨床研修指定病院
 - 救急告示病院
 - 二次救急指定病院
 - 難病法に基づく指定医療機関

千葉県がん診療連携協力病院

当院は「千葉県がん診療連携協力病院(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・前立腺がん)」に指定されています。

厚生労働省が指定する「がん診療連携拠点病院」に準じた医療を提供できる病院として、質の高いがん診療を提供してまいります。



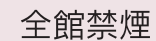
学会認定

- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - 日本腎臓学会認定研修施設
 - 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 - 日本乳癌学会専門医制度認定施設
 - 日本リハビリテーション医学会研修施設
 - 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
 - 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - 日本消化器病学会専門医制度認定施設
 - 日本放射線腫瘍学会認定施設
 - 日本透析医学会専門医制度認定施設
 - 日本麻酔科学会認定施設
 - 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
 - 日本緩和医療学会認定研修施設
 - 日本消化器外科学会専門医修練施設
 - 日本病理学会研修登録施設
- 日本大腸肛門病学会関連施設
 - 日本医学放射線学会放射線専門医修練機関
 - 日本人間ドック・予防医療学会日本病院会指定優良人間ドック・健診施設
 - 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定インプラント実施施設(一次一期再建・一次二期再建・二次再建)
 - 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設(一次再建・二次再建)
 - 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
 - 日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
 - 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
 - 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設
 - 下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
 - 呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設



- 京

所要時間：約10分



- 18